

# 白河市光のマスタープラン

## ～ 星も人も輝く白河～

概要版

令和8年3月  
白河市

表紙イラストは、白河市の夜間景観をイメージしたものです。

# 1. 計画の位置づけ・役割

本計画は、市の最上位計画である「白河市行動計画 -アジェンダ 2027-」に則するとともに、景観計画や景観形成ガイドラインを踏まえ、夜間景観づくりの将来像とそれを実現するための方向性を具体化するものです。



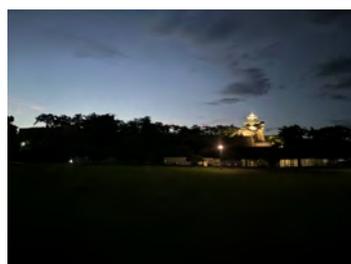
魅力的な夜間景観づくりを推進するには、道路や公共施設などの公共空間の光だけではなく、住宅や店舗などの私的空間からの光も含め、市全体として良質で調和のとれた光を構成していくことが重要となります。

本計画は、夜間景観づくりの方向性やポイントを示し、積極的に取り組むための“指針”として策定するものです。

## 2. 夜間景観向上に向けた課題

### (1) 歴史や文化との調和

夜間の演出が少なく、景観資源の魅力が感じづらいため、街全体の光を整理することで、夜間も魅力を際立たせる歴史・文化と調和する光が必要



小峰城跡三重櫓ライトアップ



天神町屋台会館

### (2) 場所や時間ごとに適した光

にぎわいの創出が求められる市街地や、安全性が求められる住宅地など、場所の持つ機能や役割、時間に応じた適切な光の選定が必要



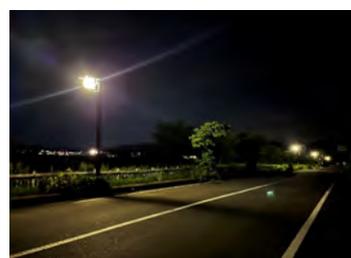
新白河大通り



旧上小屋宿

### (3) 星・豊かな自然との共生

過度にまぶしい光や青白い光、上空への光漏れは、星空や動植物に悪影響となる光害の原因となるため、先人が守り続けてきた自然への配慮が必要



隈戸川沿いの通り



南湖公園

### (4) 市民等との協働・連携、体制の構築

魅力的な夜間景観をつくるには、公共空間の光だけでなく、私的空間からの光も含め街全体として市民・事業者等との協働・連携、体制構築が必要



小峰通り



白河提灯まつり

### 3. 夜間景観の将来像

## 『星も人も輝く白河』

～白河市らしい、夜間も誇れる魅力的な街並みの創出～

市街地の  
にぎわい創出



自然環境・文化を  
次世代に継承

### 魅力的で持続可能なまちの実現

“自然の静けさや星空の美しさ”と“都市の便利さやにぎわい”を両立させ、市民が主体的に関わりながら、夜間も安心・快適で魅力的な街並みづくりを目指します

市街地においては、住民や来訪者を迎える温かな光や、城下町の情緒ある光などで星や月も見えるような、安心して本市の魅力を楽しみながら歩ける夜間景観を、郊外においては、過度な明るさを避け、自然環境が守られるよう配慮した夜間景観を整えていきます

### 4. 夜間景観づくりの基本方針

魅力的な夜間景観づくりに向けた将来像の実現を目指すため、4つの基本方針を定め、既存の光を本市に合った光に整えていくとともに、市民、事業者と共に新たな本市の光を創り出します。

#### 1 歴史や文化と調和し、魅力を引き出す夜間景観づくり

- 風土と調和した一体感を高める光(色温度)
- 景観や生活の魅力を引き出す光(グレアレス・上方光束の抑制)
- 街並みの特徴を豊かに表現する光(演色性)

#### 2 場所ごとの特性に応じた、時の移ろいを感じる夜間景観づくり

- 心地よい明るさの光(照度・輝度)
- 時の移ろいを感じる光(タイムシークエンス)

本市に合った  
光に整える

#### 3 星空を守り、豊かな自然と共生する夜間景観づくり

- 星空を守る光(グレアレス・上方光束の抑制)
- 星空にやさしい光(色温度)
- 自然の持つ色彩の美しさを魅せる光(演色性)

#### 4 市民が灯す光で彩る、温かく活気ある夜間景観づくり

- 市民参加の機会づくり

市民と共に創る

## 5. 夜間景観形成の基本的な考え方

〈方針1〉 歴史や文化と調和し、魅力を引き出す夜間景観づくり

■ 風土と調和した一体感を高める光(色温度)

2,700K~3,500K(電球色から温白色程度)を基本とする



■ 景観や生活の魅力を引き出す光(グレアレス・上方光束の抑制)

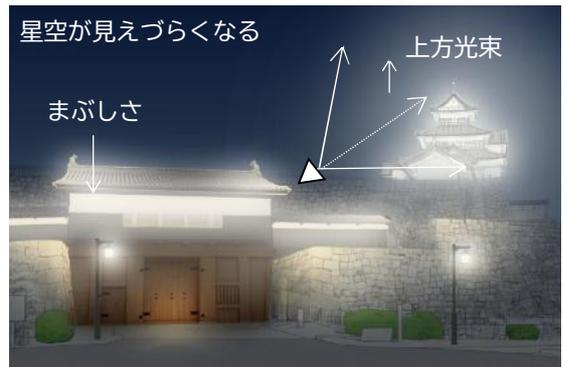
周辺や上空への配光を適切に制御した設えとする

良い例



上方光束がなく、光源のまぶしさを感じにくい照明

悪い例



上方光束のある、光源のまぶしさを感ずる照明

■ 街並みの特徴を豊かに表現する光(演色性)

演色性は Ra80 以上を基本とする

特に歴史景観や人々の生活活動が活発な場所では Ra85 以上と設定する

演色性が高い (Ra90 程度)

良い例



色や質感を感じられる

演色性が低い (Ra70 程度)

悪い例



色や質感を感じられない

## 〈方針2〉 場所ごとの特性に応じた、時の移ろいを感じる夜間景観づくり

### ■ 心地よい明るさの光(照度・輝度)

#### 光の明るさは、場所ごとの特徴や機能、役割に応じて設定

良い例

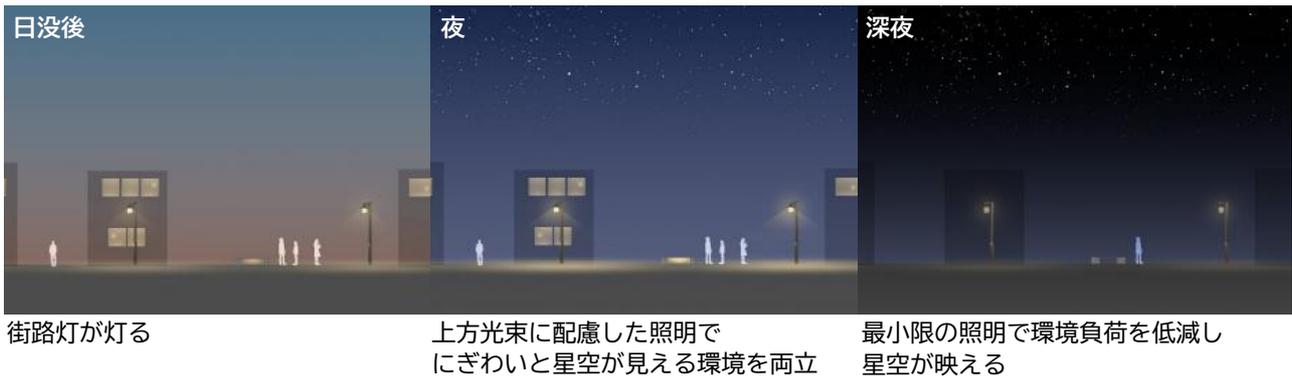


悪い例



### ■ 時の移ろいを感じる光(タイムシーケンス)

#### 時間に合った光の明るさや色を選ぶ

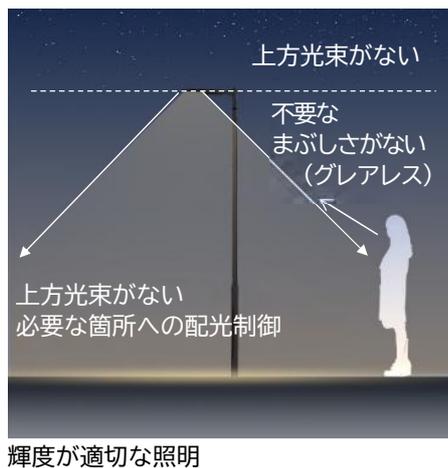


## 〈方針3〉 星空を守り、豊かな自然と共生する夜間景観づくり

### ■ 星空を守る光(グレアレス・上方光束の抑制)

#### 周辺や上空への配光を適切に制御した設えとする

良い例



悪い例



## ■ 星空にやさしい光(色温度)

2,700K~3,500K(電球色から温白色程度)を基本とする

良い例



暖かな色温度の光は上方拡散しづらい

暖かな色温度の照明

悪い例



星空が見えづらくなる

青白い色温度の光は上方拡散しやすい

青白い色温度の照明

## ■ 自然の持つ色彩の美しさを魅せる光(演色性)

演色性は Ra80 以上を基本とする

演色性が高い (Ra90 程度)

良い例



色や質感を感じられる

演色性が低い (Ra70 程度)

悪い例



色や質感を感じられない

## 〈方針4〉 市民が灯す光で彩る、温かく活気ある夜間景観づくり

### ■ 市民参加の機会づくり

日常生活や特別な日の中で、市民が自ら灯す

住宅の窓から漏れる明かりや、マンションや住宅のエントランスを明るく彩る光、路地を暖かく照らす行燈などがあり、人々の生活感や、街の安心感、温もりを演出します。

イベント時の光には、地域のお祭りや催しごとに市民自身が飾る提灯やイルミネーションなどがあり、華やかな街の雰囲気をつくり出します。

私有地や道路、河川などの利用に向けた調整や自発的な夜間景観づくりを支援する制度や事業等を進めます。

市民が灯す光によって市街地のにぎわいや温かな景観を創出します。



脇本陣ライトアップ



大谷忠吉本店ライトアップ



谷津田川ライトアップ

## 6. 景観特性ごとの方向性

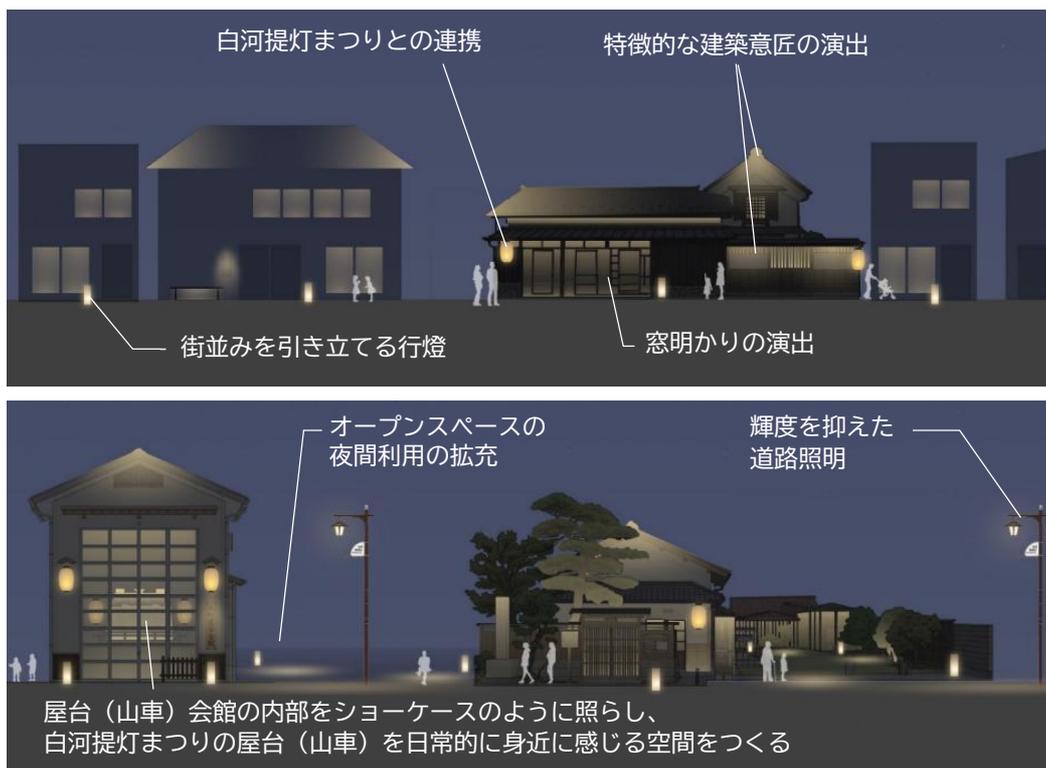
### (1) 歴史景観

歴史的建造物などの市民の暮らしと調和した温もりある光で、街並みの魅力と居場所を生み出し、市民と共に彩り豊かな夜間景観を創出します

- 風土と調和した一体感を高める光(色温度)
- 景観や生活の魅力を引き出す光(グレアレス・上方光束の抑制)
- 街並みの特徴を豊かに表現する光(演色性)
- 市民参加の機会づくり

#### 〈街並みのイメージ〉

まぶしさや輝度を抑えた照明で街並みを演出し、演色性の高い器具で歴史的建造物の質感や色合いを引き立て、人々のにぎわいの創出を目指します。



### (2) 都市景観

新白河駅前には温もりある光で来訪者を迎え、大規模な施設や商業地、住宅地、工業地では配光や色温度に配慮した照明で市全体の街並みと調和を図ります

- 風土と調和した一体感を高める光(色温度)
- 心地よい明るさの光(照度・輝度)
- 景観や生活の魅力を引き出す光(グレアレス・上方光束の抑制)
- 星空を守る光(グレアレス・上方光束の抑制)
- 時の移ろいを感じる光(タイムシークエンス)

#### 〈新白河大通りの照明イメージ〉

不要なまぶしさや上方光束を抑えた照明で街並みを引き立て、星空を守るとともに、時間帯に合わせて照明の明るさを調整することで、省エネルギーで人々の活動状況に合った光を演出する。





## (5) 眺望景観

色温度を統一した暖かな光で小峰城跡三重櫓や星空を際立たせ、まぶしさを抑えた照明設計で小峰城跡と市街地、星空が調和する本市を代表する夜間景観を形成します

- 風土と調和した一体感を高める光(色温度)
- 景観や生活の魅力を引き出す光(グレアレス・上方光束の抑制)
- 街並みの特徴を豊かに表現する光(演色性)
- 星空にやさしい光(色温度)
- 星空を守る光(グレアレス・上方光束の抑制)

### 〈小峰城跡から白河駅前の断面イメージ〉

小峰城跡三重櫓が周囲の景観と調和するよう、暖かな色温度の演色性の高い灯具を用いて、街並みと一体的な景観を創出するとともに、上方拡散やまぶしさを抑制し、星空や三重櫓が見える景観を創出する。



## (6) 景観軸

暖かな色温度への統一と配光制御で整然とした景観をつくり、既存の照明設備を活用して下方を照らし、にぎわいのある雰囲気づくりを行います

- 星空を守る光(グレアレス・上方光束の抑制)
- 風土と調和した一体感を高める光(色温度)
- 街並みの特徴を豊かに表現する光(演色性)
- 星空にやさしい光(色温度)
- 景観や生活の魅力を引き出す光(グレアレス・上方光束の抑制)
- 市民参加の機会づくり

### 〈橋梁周辺の照明イメージ〉

橋梁や橋梁の側面を隣接道路の街路灯から下方へ照らし、街並みの特徴を引き立たせ、イベント時には橋のもとに仮設行燈を設置し、橋梁と親水空間を一体的に演出する。



## (7) 景観拠点

配光を工夫した照明で小峰城跡三重櫓や石垣の立体感や質感を陰影で際立たせ、色温度やまぶしさにも配慮した照明器具を用いて星空への配慮も行います

- 風土と調和した一体感を高める光(色温度)
- 街並みの特徴を豊かに表現する光(演色性)
- 星空にやさしい光(色温度)

### 〈小峰城跡三重櫓の照明の断面配置イメージ〉

暖かな色温度と陰影のある光で立体的に演出しつつ、上方光束や街路灯のまぶしさを抑えて、眺望や星空に配慮し、安心して散策できる環境整備とエネルギーの効率化を図る。



## 7. ケーススタディ（具体的な空間イメージ）

### (1) 小峰通り

〈通常時〉

イベント時の街路灯の装飾：  
イベントに合わせたバナーや  
イルミネーション等により、  
にぎわいと一体感を演出

街路灯の装飾：  
バナー等を設置し、にぎわいを創出

白河駅ホームの照明：  
床面を効率よく照らし、三重櫓の視界  
の確保とエネルギーの効率化を図る

建築の外観の照明：  
建物の特徴を際立たせ、  
立体感のある街並みを演出

ベンチ照明：  
休憩スペースの照明を配置し  
夜間もくつろげる居場所を創出

街路灯：  
輝度を抑制し、三重櫓の視界を確保しつつ  
必要な明るさを確保



### (2) 谷津田川

〈イベント時〉

歩道照明：  
安心できる  
歩道環境を確保

樹木の照明：  
イベント時は上方に向けた  
照明を用いる

行燈：  
既存インフラの電源を使用して  
仮設行燈を設置  
イベント時の街の回遊性を高める

〈拡大〉

橋梁端部の照明：  
スポットライトを共架し  
橋梁の側面を照らす

橋梁付近の街路灯：  
スポットライトを共架し、  
階段面や橋のたもとを照らす

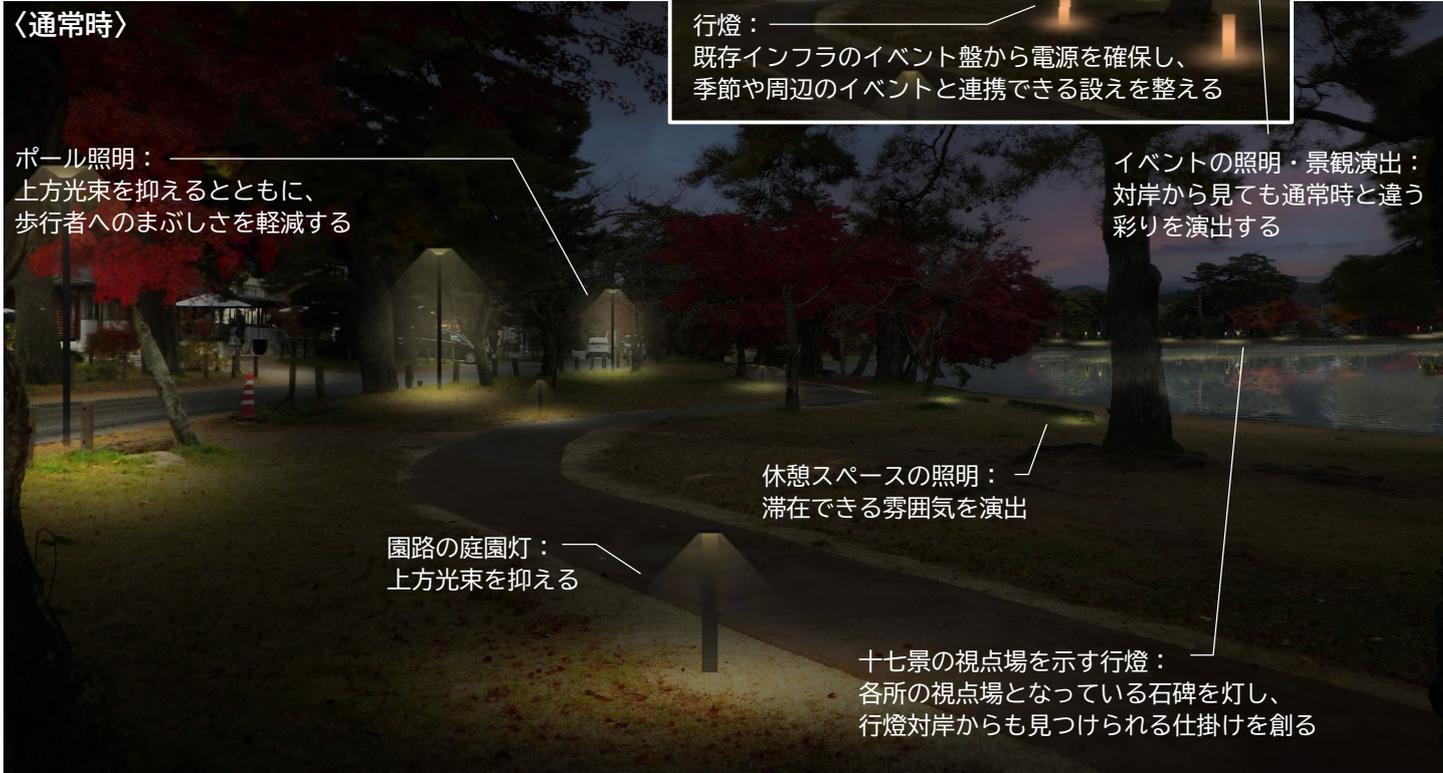
橋梁柱部の照明：  
既存インフラを用いて  
橋の構造の演出

街路灯：  
輝度を抑制し必要な明るさを  
確保しながら景観と調和する

スポットライト：  
街路灯の支柱に共架し、  
階段面の明るさを確保しつつ  
水辺環境を活かした演出を行う

### (3) 南湖公園

〈通常時〉



ポール照明：  
上方光束を抑えるとともに、  
歩行者へのまぶしさを軽減する

園路の庭園灯：  
上方光束を抑える

休憩スペースの照明：  
滞在できる雰囲気演出

十七景の視点場を示す行燈：  
各所の視点場となっている石碑を灯し、  
行燈対岸からも見つけられる仕掛けを創る

〈イベント時〉

樹木の照明：  
季節イベント時に色づく樹木や  
シンボリックな樹木の演出を行う

行燈：  
既存インフラのイベント盤から電源を確保し、  
季節や周辺のイベントと連携できる設えを整える

イベントの照明・景観演出：  
対岸から見ても通常時と違う  
彩りを演出する

### (4) 旧奥州街道

〈通常時〉



街路灯：  
輝度を抑え、街並みやイベントに合わせて  
バナーを設置し、にぎわいを演出

特徴的な建築意匠の演出：  
白壁や破風、板塀など、特徴的な  
様式や形状を活かすライトアップ

オープンスペース：  
行燈やスポットライトなどの光で  
照らし夜間利用を図る

屋台（山車）会館の演出：  
内部をショーケースのように照らし、  
白河提灯まつりの屋台（山車）を  
日常的に身近に感じる空間をつくる

路地行燈：  
街並みを引き立てる行燈の設置

〈イベント時〉

手持ち提灯：  
街歩きの雰囲気を演出し、  
イベントとの一体感を高める

提灯：  
イベントに合わせて  
提灯を設置することで  
にぎわいを演出

仮設ベンチ照明：  
休憩スペースの明かりが  
人の居場所を創出

外観照明：  
特徴的な建築意匠を  
照らし、街並みを演出

窓明かり：  
街のにぎわいを創出

## (5) 新白河駅前

〈通常時〉



## 8. 計画推進に向けた取り組み

### ● 関係機関等との連携体制の構築

国や県、関係機関等との連携に向けて、本市の夜間景観づくりの方針を共有し、実現に向けた取り組みや照明整備の手法等を調整します。

### ● 社会実験の実施

夜間景観づくりの新たな取り組みや事業の本格的な導入に先立ち、市民や関係機関等の参加のもと、場所や期間を限定して新たな取り組みや事業を試行し、その効果を測るため、必要に応じて社会実験を実施します。

### ● 市民との協働による独自のルールづくり

魅力的な夜間景観づくりを本計画の方針だけで実現することは困難であるため、場所や時間ごとに適した具体的なルールや仕組みづくりを市民と共に検討します。

### ● 看板照明やデジタルサイネージの規制誘導

周辺環境へ与える影響や交通の安全性に配慮し、設置方法や明るさ、点灯時間等の具体的な基準や規制方法を検討します。

### ● 夜間景観づくりに関する取り組み・支援等の情報発信

市の広報誌やホームページ、SNS等の様々な媒体を活用し、夜間景観づくりに関する情報を積極的に発信し、夜間景観づくりに対する意識の醸成や機運づくりを行います。